

令和 6 年度 第 2 回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会
【概要・要旨】

令和 6 年度 秋田県埋蔵文化財センター運営協議会概要

名 称	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会
設置根拠	秋田県埋蔵文化財センター運営協議会規定
設置目的	秋田埋蔵文化財センターの適正な運営と円滑な事業の推進を図るため
委員構成	委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 8 名 計 1 0 名（うち女性委員 2 名） ※ 定数 1 0 名以内
委員任期	2 年間：令和 5 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで
第 2 回	令和 7 年 2 月 3 日 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 5 埋蔵文化財センター第 1 研修室

令和6年度 第2回秋田県埋蔵文化財センター運営協議会 要旨

1 日 時：令和7年2月3日(月) 14:00～15:35

2 場 所：秋田県埋蔵文化財センター 第1研修室

3 出席者

委員：8名

小松 正夫	委員長	(前秋田考古学協会会長)
栗林 靖雄	副委員長	(美郷町立六郷小学校校長)
安杖千佳子	委員	(仙北地域振興局総務企画部地域企画課課長)
小坂 靖尚	委員	(横手市立浅舞小学校校長)
佐々木淳一	委員	(柵の案内人 大仙市ほたるの会会員)
星野 友実	委員	(大仙市立高梨小学校校長)
和田 英範	委員	(南教育事務所仙北出張所所長)
渡部 育子	委員	(国立大学法人秋田大学名誉教授)

事務局：7名

磯村 亨	所長	(兼 払田柵跡調査事務所長)
大泉 真	副所長	
佐々木敬隆	副主幹	(兼) 総務チームリーダー (兼 払田柵跡調査事務所副主幹)
吉川耕太郎	副主幹	(兼) 調査チームリーダー (兼 払田柵跡調査事務所調査チームリーダー)
村上 義直	主任文化財専門員	(兼) 中央調査チームリーダー
新海 和広	副主幹	(兼) 資料管理活用チームリーダー
堀川 昌英	主任学芸主事	

※欠席者：2名

武藤 浩紀	委員	(美郷町立千畑小学校校長)
山崎 裕子	委員	(山崎ダイカスト株式会社取締役管理部長)

4 協議内容

- (1) 令和6年度事業報告
 - ①令和6年度事業報告(調査関係)
 - ②令和6年度事業報告(活用・普及関係)
- (2) 第1回運営協議会における提言と対応について
- (3) 令和7年度事業計画
 - ①令和7年度事業計画案(調査関係)
 - ②令和7年度事業計画案(活用・普及関係)
 - ③令和7年度事業等についての提言

5 委員からの御意見・御提言(抜粋)

- ・地域振興局ではPRする内容を連絡いただければ協力できる。ポスターの展示やチラシ配布もあるが、SNSも活用していただきたい。
- ・小学校に来ていただいたときに、本当に子どもたちは地域にこんなにも誇れる遺跡があるということに気が付いた。いろいろなところに貸し出されるすばらしい展示品があることも教えていただき、目を輝かせていた。地域のよさを知ることには本当に大切であると思うし、残らなくても地域を大切にする、応援することにつながると思う。いろいろな歴史を掘り起こして、提供していただきたい。
- ・セカンドスクールや出前授業、体験活動とあるが、中高生はほとんど来ない。大変カリキュラムが忙しい中、払田柵跡に来て勉強するとなると数時間は要する。自治体のバスを利用できることは少なく、別のことに使われている。それなら夏休みに何かできないものかと思う。
- ・木簡に関連して、払田柵跡から漆紙文書が出土する可能性も考えられるので、できるだけ正確な情報を得る上でも赤外線テレビカメラの購入を検討してほしい。備品に優先順位を付けて予算を付けることを提言したい。
- ・YouTubeのチャンネルがあることを知った。子どもたちも見ているので、情報発信する一つのツールとして有効ではないかと思う。今年度実施した2回の大学の先生の講演会についても、可能な範囲であげてもらえれば情報発信になる。
- ・子どもたちは学習の一環として何か調べようとすると、手っ取り早い手段としてホームページを見る。埋蔵文化財センターのホームページを見ると3Dデジタルがあり、大変驚いている。子どもにとっていろいろな形で興味を引くものがあると思うので、ホームページの工夫を今後も継続してくださればありがたい。
- ・地域住民も含めた様々な人たちも、発掘の発表なり、研究に触れる機会があれば、非常に興味深く思うのではないかと考えている。
- ・埋蔵文化財センターには、考古学と触れ合う扉を開けていただくような役目を果たしてもらうことができれば非常にうれしい。
- ・YouTubeはすごく良い企画だ。常連の人がいるという話も聞いた。テレビ機材として楽しませてもらっているし、勉強にもなる。どんどん推進してほしい。

6 センターより

- ・センターがこの地域から期待されていることに改めて気づかせていただき、気を引き締めているところである。専門性が高い仕事になるので、どうしても一生懸命仕事をしていると周りがよく見えなくなってくることがある中、皆様それぞれの視点から貴重な御意見をいただくことができ本当にありがたい。御意見の内容を踏まえ更にブラッシュアップさせていきたい。払田柵跡調査事務所が50周年を迎えた。これを機会に、10数年ほど秋田市の県生涯学習センターで開催してきた発掘調査報告会を、今年度は3月8日、地元大仙市の会場（仙北ふれあい文化センター）で開催する。